

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2025年07月分)

ご協力ありがとうございました。2025年7月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。
調査対象 141 回答 132 回答率 93.6%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	11社	19社	46社	33社	23社	132社
	8.3%	14.4%	34.8%	25.0%	17.4%	
	(8.2)	(9.7)	(34.3)	(26.1)	(21.6)	
売上高	12社	13社	45社	37社	26社	133社
	9.0%	9.8%	33.8%	27.8%	19.5%	
	(9.0)	(11.9)	(27.6)	(29.9)	(21.6)	
在庫数量	8社	15社	56社	28社	18社	125社
	6.4%	12.0%	44.8%	22.4%	14.4%	
	(5.4)	(12.3)	(43.1)	(27.7)	(11.5)	
販売単価	1社	12社	51社	54社	11社	129社
	0.8%	9.3%	39.5%	41.9%	8.5%	
	(3.0)	(7.6)	(41.7)	(39.4)	(8.3)	
収益状況 (粗利)	10社	12社	58社	30社	19社	129社
	7.8%	9.3%	45.0%	23.3%	14.7%	
	(9.8)	(11.4)	(34.1)	(29.5)	(15.2)	
稼働率 (生産・加工設備)	4社	16社	51社	37社	6社	114社
	3.5%	14.0%	44.7%	32.5%	5.3%	
	(2.6)	(9.6)	(47.0)	(27.8)	(13.0)	
入出庫の トラック台数	4社	13社	64社	40社	8社	129社
	3.1%	10.1%	49.6%	31.0%	6.2%	
	(1.6)	(7.0)	(47.7)	(35.2)	(8.6)	
現在の 景況感	1社	5社	43社	49社	33社	131社
	0.8%	3.8%	32.8%	37.4%	25.2%	
	(0.0)	(3.8)	(30.1)	(39.8)	(26.3)	
3ヶ月後の 景況予測	0社	8社	91社	23社	9社	131社
	0.0%	6.1%	69.5%	17.6%	6.9%	
	(0.0)	(6.0)	(62.4)	(26.3)	(5.3)	
特記事項						

注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(2025年7月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置きます。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 店売り、建材分野は、1月～3月よりさらに4月～6月期は需要減退。7月に入っても一向に上向く兆し無く、8月は稼働日少なく、トランプ関税や猛暑で、さらに販売量は落ちる。結局上期は悪い状況のままの見込み。
- ② 7月の業績は、前年同月並みの水準を確保した。需要が伸び悩む中ではあるが、どうにか踏みとどまった印象。関税措置の影響に加え、人手不足や人口減少にも歯止めがかからない現状を踏まえると、輸出産業は今後さらに現地生産へのシフトを加速させていくと考えられ、動向を注視していきたい。
- ③ 前月より盛り返したものの、前年同月比ではマイナス。お盆を見越した受注はあったものの、忙しいとは言えない状況。価格もじりじり下降している。
- ④ 稼働日見合いと冷・酸洗で一部歯抜けが発生し、仲間からの引合いがはまり数量が伸びたが、全体を押し上げるほどの動意はない。与信管理は一層アンテナを張っている。

中板

- ① 業種問わず需要低迷が続いており回復の兆しも見られない。店売りも各社小口当用買いの状況に変わりはない。市況は受注確保の焦り売りもあり、相変わらずのジリ安であるものの、下げのペースはかなり遅くなっている。

厚板

- ① <全体感>引続き、各分野において低調な推移となっている。紐付き分野においては、米国の関税問題に端を発し、幅広く影響が懸念されており、生産計画の見直しも含め先行き不透明感が強い。店売分野も同様、切板需要が総じて少ない中で、荷動きは依然として低迷している。
<分野別>建産機分野においては、上記の通り、輸出向けの不透明感から先々も含め生産計画の見直しも出始めている。国内向けも販売が苦戦しており、先行き不透明感は非常に強い。店売分野においても仕事量は少なく大変厳しい状況。切板価格も価格幅が広がっており、まとまった案件などでは安値も散見される。
- ② 建設機械は減産も顕著で、売上、引合共に減少している。店売り関連も売上、引合共に減少している。
- ③ 橋梁免震については低位横這いが続いている。店売りについても荷動きは殆ど無い状況が続いている。

一般形鋼・H形鋼

- ① 6月同様荷動きに迫力はないが、しっかり稼働日数増の恩恵はあったかと思う。メーカー生産は落ちたままの状況が継続しているが、マーケットは落ちておらず、特にH形鋼は市中手配へのシフトが継続していると認識。急な問い合わせも少なくはなく、在庫も揃いにくい状況。このような状況でも雰囲気悪さからか安値も聞かれるが、市中へのニーズと市中在庫は引き締まった状態なので、無理して安値を追う必要なく、冷静な対応が肝要。
- ② 荷動きが鈍く、販売単価は弱基調である。流通による安値が先月より多く見受けられるようになってきた。
- ③ 秋口から動き出すとの情報、まだ受注は見込めていない見積り依頼あり。
- ④ 問題は、売上数量の低迷で伸びるどころか注意していないと下がる。需要の最低ラインで推移しているのか。8月は営業日も例月より2割減で厳しい対応を迫られる。
- ⑤ 職人不足で現場を取れない現状。

異形棒鋼

- ① 需要が少なく、荷動きは悪いままだが、メーカーの減産継続で一応市況は維持している。しかし、他地区からの流入玉がメーカーの契約残減少などで、さらに厳しい環境に入っているため、流通としては無理した販売はしない方針である。
- ② 変わらずの荷動き低調が続いている状況。秋需の期待も薄く、明るい兆しも見えてこない。市況も弱含みだが、現行値堅持に努める。
- ③ 売上は7月、8月も昨年と同じく低水準での横這い。単価はメーカー価格維持のため、少し下がり横這い。秋は店売りが悪いなりに動く予想。

平鋼

- ① 7月も倉出しの定尺出荷は低位横這いで引き続き良くはないが、建築向けの社内加工は、大型案件等がたまたま重なり、徐々に工場がパンクした。外注加工先にも協力を要請して加工を進めているが、お盆休み前までは忙しい状況になりそう。お客様にも状況報告をしたうえで納期相談も進めている。この忙しさも続けば良いが、この先の9月、10月の案件がまだ見えていないので、お客様へ訪問し、情報収集を進めていく。
- ② 競合他品種の市況下落、ジリ安傾向が続いているため、平鋼価格も8月に入り下げ様相。上値も重く、今後も値下がりが続く可能性あり。工場稼働率も前年比で大幅に低下している。

軽量形鋼

- ① 生産量、受注量共に横這い。単価はやや低下傾向。10月以降の生産量は微増の見込み。
- ② 7月の3連休前から物件が動き出したため、想定以上の出荷となった。公共物件が動き出したためではあるが、小規模の物件については新規が少なく低調。そのため価格については下落し始めている。

鋼管

- ① 大きな変化なく、前年比、前月比共に横這い状態である。価格も弱含み横這いが続いており、8月後半からの動きに期待しているが、需要は乏しい。
- ② 決して荷動きは良くない。

構造用鋼

- ① 需要は自動車関連で荷動きが鈍い中、米国との関税率問題もあり、動向には注視を要する状況。建機産機は底を脱しつつある様子だが、依然として低調。店売りの荷動きはさえない状況が継続している。価格は一部で安値も聞かれるが、中心相場は下がっていない。採算確保と価格維持に努める状況。在庫は出荷見合いで適量。

磨棒鋼

- ① 自動車、建機、産機等、トランプ関税の影響も重なり、様子見の状況が続く。ただ、先行き状況が上向く兆しもなく、方向性としては緩やかに売上が減少していくものと想像する。販売に見合う形で合理化を進めて行く必要が出てきた。

ステンレス

- ① ステンレスでもADの調査がスタートすることから、状況を注視する必要がある。

その他

<スクラップ>

- ① 現在の景況感は引き続き厳しい状況が続いており、製品需要の低迷に伴い、スクラップ調達も低迷している。一方で、為替がやや円安に振れたタイミングで輸出成約も取れているようで、現時点では需給バランスは何とか保たれている。

<金属表面処理>

- ① 7月は紐付き、物件物共に計画通りの扱い量。スポットも前月比15%増となった。8月、9月と物件物（プラント）が控えており、協力会社と連携し、平準化する計画。8月は稼働日が少ないこともあり高操業の予定。